

仙台市のリサーチコンプレックス推進の考え方

背景

東北地域の拠点都市として発展してきた本市
東北の経済は、生産年齢人口減少などにより
今後さらに厳しい状況が見込まれる



東北地方の牽引役として、**イノベーションの創出**
により新たな価値を生み出し、その効果を東北
に波及させることが重要

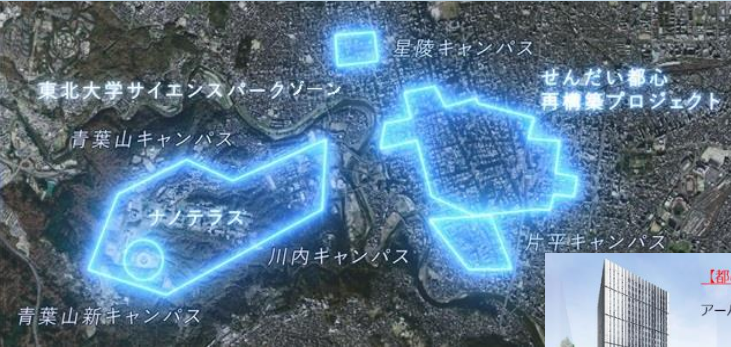
本市の強み

(強み)

- ・世界最高峰の分析性能を持つ「**ナノテラス**」
- ・**東北大学**（国際卓越研究大学に認定）
⇒半導体テクノロジー共創体、東北メディカルメガバンク
機構、グリーンクロステック研究センター、
クライオ電子顕微鏡、スーパーコンピュータ など
- ・国立研究開発法人（産総研、理研等）
- ・広大な実証フィールド（青葉山・東部沿岸地域）
- ・教育研究機関・人材の集積
- ・首都圏等や、東北各地へのアクセシビリティ
- ・暮らしやすい住環境

(関係するプロジェクト)

- ・**東北大学サイエンスパーク構想**
（サイエンスパークゾーンとMICHINOOKコミュニティ）
- ・**せんだい都心再構築プロジェクト**



【都心再構築施設活用】
アーバンネット仙台中央ビル
令和5年11月完成
出典：NTT都市開発株式会社HP

本市が目指すリサーチコンプレックスの姿

1.研究機関や企業等が集積し、オープンイノベーションが推進される

- ①特定のエリアに研究機関、企業等の集積が進む
- ②産学官金連携のもとに立地企業と地元企業（中小企業・研究開発型スタートアップ）の協業や企業間の異分野融合が活発になる
- ③世界をリードする成果・新たな価値が生まれ、産業基盤が発展するとともに研究開発の国際競争力が向上する

2.仙台・東北へさらなる投資をもたらす好循環を生む

- ④オープンイノベーションで生まれた仙台発の最先端産業技術・新たな価値を世界に向けて発信する
- ⑤国内外からさらなる投資（立地）を呼び込み、仙台・東北の地域経済活性化に寄与する

重点分野

材料科学、半導体、量子、グリーン、宇宙、ライフサイエンス、災害科学
⇒東北大学が強みを有する上記分野の企業の誘致や協業促進に重点的に取り組む

関係主体と担う役割（概要）

【その他支援機関】
・宮城県
・金融機関
・国立研究開発法人
など

企業

（立地企業、地元中小企業
・研究開発型スタートアップ）
・本市への集積、
企業間交流、価値創出

東北大学

・産官学金がつながる
コミュニティ形成と
新たな価値創造の核
・事業化支援
・高度人材育成

仙台市

・リサーチコンプレックス
形成基盤の構築
・研究開発拠点の誘致
・企業の事業化支援や地元
企業への波及促進 など

KPI

集積

交流・
価値創出

- ・立地件数（共創研究所設置数や研究開発拠点設置数）
- ・地元企業と立地企業の協業件数（PoC件数、NDA締結件数など含む）